

平成25年度  
(平成25年4月1日から9月30日まで)  
社団法人 さいたま観光国際協会  
事業報告

総括報告

平成25年度上期は、公益社団法人への移行申請及び準備をはじめ、大規模な国際イベントである「さいたまクリテリウム by ツールドフランス」の準備と、2017年に開催される「第8回世界盆栽大会」誘致実現へ向けた招致活動など、通例事業を開催しながら、さらに広範囲な事業展開となった。

観光事業においては、各種イベント事業を実施。成功裡に開催することができ、上期事業の入れ込み客数は187万人に達した。

コンベンション事業においては、助成金制度を活用しながら、引き続き各種会議・展示会等の誘致を促進している。

広報宣伝事業においては、プレスツアーを実施、マスコミへの掲載なども増加している。

スポーツコミッション事業においては、様々なスポーツイベントの誘致、支援とともに、自転車の世界において象徴的なイベントである「ツールドフランス」の名を冠した、世界初のサイクリングイベント「さいたまクリテリウム by ツールドフランス」を開催準備など、関係機関との調整をはかった。

国際交流事業においては、国際交流センターを活用し、既存事業を充実させ、本年度は姉妹友好都市との交流としてスポーツ少年団の受入を行うとともに、外国人支援の充実をはかった。

また、さいたま市の伝統芸術「大宮盆栽」を海外に売り出すためのプロジェクト「大宮盆栽海外展開プロジェクト」においては、輸出へ向けた取組を促進するとともに、1989年の第1回大会の大宮での開催以来、28年ぶりとなる、第8回世界盆栽大会（2017年）のさいたま市開催誘致が実現した。

法人運営面では、9月20日に埼玉県知事より公益社団法人への移行が認定され、平成25年10月1日に法務局への変更登記により移行事務が完了した。

# 1 観光事業

## (1) 観光振興事業

### 地域観光行事への助成、支援

- ・各種イベント、地域観光振興事業の協賛後援事業（大盆栽まつり・フリマ北与野・さいたま市浦和うなぎまつり・大宮日進七夕まつり・岩槻まつり・北浦和阿波おどり大会他）
- ・友好都市との交流事業への協力

### さいたまるしえ事業

- ・さいたまるしえホームページの運営
- ・さいたまるしえサポーター交流会 4/18
- ・うなぎのタレ仕立ての鶏つくねパン共同開発 6/1～7/31まで販売
- ・プレナスなでしこリーグカップ2013準決勝戦 8/25

### 観光ボランティア団体との連携

- ・さいたま市の魅力を案内する「岩槻観光ボランティアガイド会」「観光ボランティア浦和ガイド会」「大宮観光ボランティアガイド会」の利用促進と希望者からの受入窓口を行った。

### 花の名所の維持管理

## (2) 推奨土産品認定事業

### 推奨土産品の広報及び販売経路の拡充

## (3) 観光イベント事業

行事名	期 日	場 所	入込/参加人数
岩槻城址公園桜まつり	4/6・7	岩槻城址公園	入込7,000人
さくら草まつり	4/20・21	市役所・桜草公園	入込14,000人
ばらまつり	5/18・19	与野公園	入込160,000人
大宮薪能	5/24・25	武蔵一宮氷川神社境内	鑑能者2,281人
氷川神社の茅の輪くぐりと植木草花市	6/30	武蔵一宮氷川神社境内・参道	入込15,000人
人形のまち岩槻「朝顔市」	7/7	クレセントモール	入込5,000人
与野夏祭り	7/13・14	与野本町通り周辺	入込200,000人
大宮夏まつり「中山道みやはらまつり」	7/14	宮原駅東口周辺	入込50,000人
浦和まつり（音楽パレード、浦和おど	音楽、おどり、ミュージックフェスタ	浦和駅周辺	音楽入込40,000人 おどり入込（ミュージ

り、ウラワミュージックフェスタ、みこし渡御、浦和よさこい)	7/14 みこし7/21 よさこい7/21	浦和駅周辺 南浦和駅東口西口	ックフェスタ含む) 80,000人 みこし入込 130,000人 よさこい入込 60,000人
さいたま市花火大会 大和田公園会場	7/30	大和田公園周辺	入込100,000人
大宮夏まつり「西口夏まつり」	7/31	大宮駅西口周辺	入込20,000人
大宮夏まつり「スパークカーニバル」	8/1	大宮駅西口周辺	入込230,000人
大宮夏まつり「中山道まつり」	8/1・2	大宮駅東口周辺	入込260,000人
大宮夏まつり「東大宮サマーフェスティバル」	8/2・3	東大宮中央公園	入込36,000人
大宮夏まつり「大宮日進七夕まつり」	8/6・7	日進駅前通り周辺	入込155,000人
さいたま市花火大会 東浦和 大間木会場	8/10	東浦和 大間木公園周辺	入込70,000人
さいたま市花火大会 岩槻文化公園会場	8/17	岩槻文化公園	入込60,000人
人形のまち 岩槻まつり	8/18	岩槻駅東口周辺	入込 155,000人
大宮夏まつり「指扇まつり大会」	8/24	滝沼川遊水地	入込14,000人
北浦和阿波おどり大会	9/7	北浦和駅西口周辺	入込15,000人
合計			入込計 1,878,281人

#### (4) 観光に関する調査研究

既存の観光事業の分析・検証

地域観光情報の基礎データベースの整理、観光資源の調査

さいたま市観光振興ビジョン実現に向けた協力

#### (5) 事務局受託事業

ばらまつり、大宮夏まつり（前夜祭・西口夏まつり・スパークカーニバル・中山道まつり）、さいたま市花火大会

## 2 コンベンション事業

### (1) 誘致支援事業

#### コンベンション主催者へのセールス活動の推進

「国際会議観光都市」として、J N T Oなどからの国際会議情報や、各主催者団体のホームページ、その他情報類によりコンベンション開催地並びに役員名等の情報を分析し、本市開催の可能性がより高い団体に対して、県内キーマンや団体本部を中心に誘致セールスを行い、キーマンとのパイプも着実に増強されてきている。

#### 観光マップ、コンベンションバッグ等の提供

さいたま市 Walker を 12 件 6,735 部（前年上半期 17 件 8,240 部）、観光マップを 18 件 10,340 部（前年上半期 17 件 11,170 部）、周辺飲食店情報を 16 件 9,585 部（前年上半期 8 件 4,614 部）、コンベンションビニールバッグを 10 件 3,915 部（前年上半期 9 件 4,750 部）、不織布バッグを 1 件 300 部（前年上半期 1 件 3,000 部）提供し、本市開催のメリットをアピールした。

#### インターネットによるコンベンション情報の発信

支援メニューの充実等を図るとともに案内をわかりやすくし、コンベンション主催者の利便性を高めている。

#### コンベンション開催時における推奨土産品販売所の出店

当協会直接の臨時観光案内所設置は行っていないが、コンベンション会場への埼玉県物産観光協会による土産品販売所の設置や土産品の P R を行っている。

#### 産業観光、アトラクション情報等の提供

アフターコンベンションのニーズに応えられるよう、特に産業観光施設の拡充を図ることができた。

#### コンベンション参加者ガイドの提供

#### 推奨コンベンション弁当の周知

セールspanフレット・HP や施設見学会等で主催者に周知を図っている。

#### 会場・観光地等の写真貸出システムの拡充

コンベンション主催者が宣伝周知用に作成するポスター等への活用を促進した。

#### 会議・レセプション等のユニークな会場の発掘・拡充

さいたま市ならではのユニークメニューとして、式典や懇親会等が行える会場の発掘・拡充を行っている。

#### その他コンサルティング

### (2) I M E 出展事業

国際ミーティングエキスポ「IME2013」への出展準備

(3) 施設見学会事業

コンベンション施設見学会（年1回）の開催

- ・ソニックシティと共同の施設見学会の開催予定（平成25年10月～3月）
- ・コンベンション施設内覧会への協力（平成25年4月～9月）  
7月8日（月）、公益財団法人埼玉県産業文化センター主催の「大宮ソニックシティ施設内覧会」へ職員を派遣し、支援内容の説明及び観光スポットの案内等を行った。

埼玉大学との連携

(4) 情報収集事業

コンベンションデータ（顧客名簿・開催意向等）の管理及び更新

分析調査及び誘致セールスで得た各種情報をデータベース化し、系統的セールス活動が行なえるよう管理、更新を図っている。

観光・コンベンション団体、関係機関との広域連携による情報収集

JCCB総会及びJCCB主催のコンベンションビューロー部会、に参加し、他市ビューローや業界関係者との情報交換を行った。

また、JNTO等のコンベンション推進団体による各種統計・アンケート調査等に対して随時協力を行っている。

(5) 経済波及効果調査事業

コンベンション開催による経済波及効果調査の実施

24年度における年間開催件数及び年間経済波及効果を調査し、コンベンション事業に対する行政及び民間の理解と協力を働きかけるため、個別調査とともに報告書を作成し関係機関等に提出した。

個別コンベンション開催実績調査の実施

本市で開催されたコンベンションの実態を計数的に把握するため、25年度上期に3件の個別のコンベンションにおける経済波及効果を調査した。

(6) コンベンション開催助成金制度の実施

コンベンション開催助成金（平成25年4月～9月）

さいたま市における更なるコンベンション誘致及び開催の推進を図るため、コンベンション開催助成金制度を立ち上げ、上半期6件を助成。下半期5件の開催助成金交付予定。

コンベンション開催準備資金貸付制度の実施（継続中）

他の支援事業と併せ本制度の周知を図り、本市開催の誘致活動を行っているが、上半期について、貸付を希望するコンベンションは現在特にない。

### 3 広報宣伝事業

#### (1) 広報宣伝活動

観光情報誌「さいたま市 Walker×Sai's (さいず)」の発行(6月、9月)

来訪者等へ向けた観光情報の広報宣伝を行った。(夏号=6月:42, 000部、秋号=9月:36, 000)

各種観光マップ・ポスターの作成・頒布の実施

テレビ、新聞・タウン誌、Web等の取材対応

媒体種別	掲載件数( )内は前年	プレスリリース回数
新聞	78 (13)	30回 (29回)
タウン誌(紙)	36 (54)	
専門誌	2 (4)	
雑誌	23 (30)	
行政関連出版物	6 (5)	
会報等	6 (6)	
テレビ	12 (4)	
ラジオ	0 (1)	
WEB	44 (35)	
その他	5 (14)	
合計	212 (166)	

観光資源プレスツアーや海外メディア招聘事業の実施

「さいたま市ブロッガー・プレスツアー」の実施。5月14日から15日の2日間にわたり、新聞、雑誌記者、ブロッガー等11名を招聘、与野公園のバラや大宮盆栽美術館、浦和のうなぎなどを紹介、各メディアに掲載された。

ご当地グルメや、ご当地キャラクターなどのPR

浦和のうなぎや豆腐ラーメン、スタミナラーメンなどのご当地グルメ情報をホームページなどで積極的にPR、また、さいたま市PRキャラクター「つなが竜ヌウ」や「浦和うなこちゃん」もパンフレットなどに使用するなどPRを行った。

スマートフォンアプリ開発等に関する協力

#### (2) インターネットによるシティセールス

ホームページ「web S@i's (うえぶさいず)」及びブログ「もぎたてさいたま情報」による国内外への誘致・PR

Twitter「@SaitamaTIB」やFacebook ページなどソーシャルネットワークを活用した、観光情報の発信

#### (3) 大宮盆栽の普及啓発事業

JAPAN ブランド化事業「大宮盆栽」海外展開事業の推進

海外販路拡大に向けた取り組み（検疫対応、取引ルート確立等）

第8回世界盆栽大会（2017年）の誘致実現

9月27日から中国・金壇市で開催された第7回世界盆栽大会において、次回開催地として立候補、プレゼンテーションを行い、誘致を実現することが出来た。

#### 4 スポーツコミッション事業

##### (1) スポーツイベント誘致支援等事業

さいたまスポーツコミッション（SSC）の運営

###### ・SSCの活用

スポーツ関連団体により構成された協議会組織であるSSCの活動を通じて、スポーツイベントの誘致・開催並びに地域スポーツの振興活動を展開した。

###### ・平成25年度総会

平成25年6月26日（水）、パレスホテル大宮において平成25年度総会を開催した。

スポーツイベント主催者への大会等誘致活動

さいたま市内のスポーツ施設を勘案し、開催の可能性が高い団体に対して、誘致セールスを行った。

スポーツイベント主催者への大会等運営支援

開催会場の確保・調整、助成金による財政支援、大会の広報・PR、各種資料・情報提供、飲食物販売所の設置、行政機関への調整等、各種運営支援を行った。（支援イベント数：20大会）

インターネット及び各種広報媒体によるPR活動

ホームページによるSSCの支援メニュー及び市内スポーツ施設情報の紹介、並びに市内総合型地域スポーツクラブ及び県内トップスポーツチームの紹介等の情報発信を行った。（SSCホームページアクセス数：41,039件 ※H25年4月～H25年9月）

スポーツイベントによる経済波及効果調査

スポーツイベント開催助成金を交付したスポーツイベントを中心に、個別のアンケートを実施し、経済波及効果を推計するための基礎調査収集を行った。（調査イベント数：13大会）

スポーツ関連情報収集活動

###### ・海外スポーツ情報の収集

平成25年5月26日（日）から6月1日（土）まで、サンクトペテルブルク市（ロシア）で開催された世界最大のスポーツ総合国際会議である「スポーツアコード2013」において、国際スポーツイベント情報を収集するとともに、同会議にブース出展する一般社

団法人日本ツーリズム振興機構並びに独立行政法人日本スポーツ振興センターと連携し、SSCのプロモーション活動を展開した。

- ・（一社）日本スポーツツーリズム推進機構（JSTA）への参画  
スポーツツーリズムを推進する役割を担った全国的なネットワークを構築する同機構会員を継続するとともに、その活動を通じて業界関係者との情報交換を行った。
- ・日本スポーツマネジメント学会（JASM）への参画  
スポーツマネジメント研究を行う同学会員を継続するとともに、その活動を通じて業界関係者との情報交換を行った。
- ・コンサルティングレポートの管理及び更新  
誘致セールスで得た各種情報をデータベース化し、系統的セールス活動が行えるよう管理、更新を行った。

スポーツ関連イベントへの出展

- ・マラソンジャパン2013

平成25年7月11日（木）、ソウル市（韓国）において観光庁及びJSTA主催の同商談会にブースを出展し、2014さいたまシティマラソンのPRを行った。

#### （2）ウオーキングイベント開催事業

第2回さいたまーチ ～見沼ツデーウオーク～開催準備

#### （3）SAITAMA Criterium by Le Tour de France（さいたまクリテリウム by ツールドフランス）開催

- ・実行委員会の設立及び準備活動

平成25年4月15日（月）、ラフレさいたまにおいて「さいたまクリテリウム実行委員会」を設立し、開催準備活動を開始した。

- ・海外出展PR

平成25年6月29日（土）から7月2日（火）まで、ツールドフランス2013第4ステージ（ニース）にブース出展し、本イベントのPRを行った。

- ・海外記者会見

平成25年7月10日（水）、ツールドフランス2013第11ステージ（モンサンミッシェル）において記者会見を開催し、本イベントのPRを行った。

#### （4）スポーツイベント開催助成事業

スポーツイベントの誘致及び開催の推進を図るため、スポーツイベント開催助成金交付制度を活用し、9件（総額4,850千円）を助成した。



## 5 国際交流事業

### (1) 国際推進事業

#### 多言語生活相談

英語、中国語、韓国・朝鮮語による生活相談や各種行政情報の翻訳を実施。

相談日及び件数：中国語 火曜日（29件）、英語 水曜日（4件）、韓国・朝鮮語 木曜日（3件）

#### ボランティア（通訳・翻訳、ホストファミリー、イベント）派遣事業

市等の公的機関からの要請に基づき、通訳ボランティアの派遣、ホームステイ受入れ家庭の紹介及び国際交流イベント等へのイベントボランティアの募集と派遣を行った。

ボランティア区分	登録者数	依頼数
通訳・翻訳ボランティア	415人 (20言語 延べ495人)	通訳48人 翻訳41人
ホストファミリー	254家庭	67家庭
イベントボランティア	登録者実数479人	223人

#### 外国人への日本語支援事業（にほんごのへや）

在住外国人のための日本語教室を金曜日に国際交流センター（浦和コース）及び大宮区役所（大宮コース）で開催。

参加者総数：2,143人（学習者820、要保育児101人、スタッフ等1,222人）

##### ○コース別内訳

《浦和コース：午前、夜》

1,621人（学習者608人、要保育児70人、スタッフ等943人）

《大宮コース：午前》

522人（学習者212人、要保育児31人、スタッフ等279人）

#### 外国人市民に向けた地域・生活情報の提供（多言語生活情報誌「ぷらら」）の発行

外国人市民に向けた、地域・生活情報誌を5言語（日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語）で発行した。（36号：5月、37号：6月、38号：9月、各号4,285部発行）

#### 国際友好フェア（花と緑の祭典）

市民及び市内在住外国人等による各種展示、発表等を行い、国際交流や異文化理解の推進に努めた。

期 日：平成25年5月3日（祝）、4日（祝）

場 所：市民の森・見沼グリーンセンター

参加団体：60団体（29ヶ国）

来場者：約 80,000 人

#### 姉妹友好都市交流事業

メキシコ合衆国トルーカ市サッカー少年団及びアメリカ合衆国バー  
ジニア州リッチモンド市野球少年団を受入。

- ・トルーカ市サッカー少年団

日 程：平成 25 年 7 月 22 日（月）～7 月 29 日（月）

人 数：23 名（役員 5 名、団員 18 名）

- ・リッチモンド市野球少年団

日 程：平成 25 年 8 月 3 日（土）～8 月 11 日（日）

人 数：26 名（役員 10 名、団員 16 名）

#### 国際ふれあいフェア

さいたま市の姉妹・友好都市を中心に各国の文化などを紹介し、異  
文化理解の推進を図った。

期 日：平成 25 年 10 月 6 日（日）

会 場：浦和駅東口駅前市民広場

参加団体：22 団体（10 ヶ国）

来場者数：約 6,500 人

## （2）国際交流事業

#### 国際交流センター情報誌発行

国際交流センター情報誌「IEC News」を発行。国際交流センター  
事業や国際交流関係の情報を提供した。

（4 号：5 月、5 号：9 月 各号 2,500 部発行）

#### ユース国際ボランティアボランティア養成

国際交流や国際協力に興味のある学生を中心としたユース国際ボラ  
ンティア養成講座を開催。日本語学校（平成 25 年 7 月 22 日）や  
JICA 施設（平成 25 年 8 月 26 日）の訪問や活動内容の企画展示を実  
施。

#### 日本語ボランティア養成講座

市内の日本語ボランティア教室の活動支援を目的に、日本語ボランティ  
ア養成講座を開催。

- ・日本語ボランティア養成講座（前期）

日 程：平成 25 年 6 月 3 日（月）～7 月 3 日（水）計 10 回

場 所：国際交流センター 多目的室

参加者：受講者 29 名

#### 日本語国際センター交流事業

日本語国際センターの研修生がさいたま市への親近感を深めること  
を目的に、市民との交流会を国際交流基金日本語国際センターで平成  
25 年 10 月 8 日（火）（参加者 191 名）実施した。

## 国際交流サロン交流会

### ・はじめましての会

市内に住み始めて間もない外国人市民を対象に地域住民との交流を目的に4月20日(土)に浦和コミュニティセンター第15集会室で開催。(参加者:179名)

## ホームビジット

留学生の日本の家庭での生活体験を目的に、半日のホームステイとしてホームビジットを6月1日(土)(留学生23名)に実施。

## 語学講座開催事業

他言語の学習を通じて異文化理解を深めるために語学講座を実施した。

受講者:英語17名、フランス語15名、韓国語15名、スペイン語17名

## サロン企画事業

国際交流サロンスペース(ぷらっとサロン)を利用し、在住外国人に対する簡易生活相談や各種情報の提供と、サロンでのパネル展示や各国の文化紹介等のミニ講座、おしゃべりサロンを実施。

・ミニ講座6回開催(参加者合計267名)

・おしゃべりサロン:英語、韓国語、スペイン語、中国語、日本語、ロシア語(参加者合計799名)

## 子育て支援事業

市内在住外国人の子育て支援として、親子で参加するイベントの実施や子育てに関する相談と情報交換会として「ぷらっとあそぼうドットg」(参加者123名)を第二土曜日に、「わいわいサロン」(参加者332名)を火曜日に開催。

## 姉妹都市交流支援事業

姉妹・友好都市の理解を深めるために、6月26日(水)に、さいたま市の海外姉妹都市・友好都市に関する勉強会を開催。(参加者15名)

## 6 観光案内所運営事業

### (1) 観光案内所等の管理運営

大宮駅観光案内所(JR大宮駅東西自由通路内)、さいたま新都心観光案内所(JRさいたま新都心駅東西自由通路内)、浦和観光案内所(JR浦和駅西口前)の運営

・観光案内業務

・各種パンフレット配布業務

・ビジット・ジャパン案内所のネットワークによる情報収集・発信

## 7 物品販売事業

- (1) 観光オリジナルグッズ等の販売による収益事業の推進  
グッズ売上 405,670円
- (2) 公共施設等における自動販売機の設置による来遊者へのサービス事業の推進  
販売手数料収入 452,887円
- (3) その他、自主財源の確立に向けた取組  
観光案内所による推奨土産品、観光グッズ、委託物品の販売業務、チケットぴあ業務  
販売手数料収入 2,135,961円

## 8 その他

- (1) 情報収集事業  
観光コンベンション団体、関係機関との広域的連携による情報収集  
大都市観光協会連絡協議会及び国際会議観光都市連絡協議会への参加による情報交換  
本年度は大都市観光協会連絡協議会の開催都市として、平成25年7月25日―26日の2日間、会議および観光施設視察（鉄道博物館、大宮盆栽美術館）を実施した。
- (2) 会員サービス事業  
会員相互の交流の場の提供及び会員名簿の作成  
功労者表彰制度の実施  
功労者13名、特別功労者1名を平成25年6月24日開催の通常総会にて表彰した。  
会員特典内容の拡充  
会員証を新規加入会員に配布するとともに、会員特典制度を実施した。
- (3) 経営基盤強化、効率的な組織運営に関する検討  
平成25年9月20日、埼玉県知事より、公益社団法人への移行が認定された。